

研究分野		授業科目名				科目責任者	
生理系分野		運動器外傷病態生理学特論Ⅰ・Ⅲ				野田 知之	
開講年次		共通／専攻／選択		単位数			
1,2,3,4		特論Ⅰ：必須専攻 特論Ⅲ：選択		特論Ⅰ：4(2/年) 特論Ⅲ：1/年			
目的							
運動器全般, すなわち, 骨, 軟骨, 筋肉, 腱, 靭帯, 神経, に関する損傷を理解し, 特に整形外傷に対する診断, 治療を学習する。							
授業到達目標							
(1) 整形外科分野での医学論文の重要ポイントを理解できる。 (2) 骨・軟骨・関節・靭帯・筋肉・末梢神経の構造と機能を説明でき, 椎骨と脊柱の構成を説明できる。 (3) 四肢の主要筋群の運動と神経支配を説明でき, 骨の成長と骨代謝の機序を説明できる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時間	担当者	区分1	区分2	授業内容
1	毎週	水	8:30-9:30	野田 知之	講義	[抄読会・ 症例検討会・ 研究検討会]	運動器全般および運動器外傷・再建に関する最新の 診断・治療学を紹介する。 [場所:総合医療センター]
評価方法							
【特論Ⅰ】 (1) 1年間※で, 講義は 30 時間出席し, 科目責任者から履修手帳に出席印をもらい, 提出する。 (2) 1年間※で, 論文紹介または症例発表を 2 回行い, その要約 2 編を提出する。 【特論Ⅲ】 (1) 1年間※で, 講義は 15 時間出席し, 科目責任者から履修手帳に出席印をもらい, 提出する。 (2) 1年間※で, 論文紹介または症例発表を 2 回行い, その要約 2 編を提出する。 ただし, 特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものと異なる論文(症例)であること。 特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。 ※1～3年生は2月末まで, 4年生は 11 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。33 頁:単位履修方法参照							
課題(レポート等)に対するフィードバック							
紹介論文の要約について, ディスカッションを行い, 内容を正確に把握できていることを確認する。添削して返却する。							
教科書							
ISBN-9784260038805, 標準整形外科学, 井樋栄二 [ほか] 編集, 医学書院, 2020							
参考書							
必要に応じて別途指示する。							
準備学習(予習・復習等)							
(1) 『標準整形外科学』を読んでおくことが望ましい。 (2) 教科書, 参考書を用いた講義内容の確認と疑問点の解決, 適宜授業によりレポート作成を行う 1 授業に対して予習 1 時間, 復習 1 時間を充てる							
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							
課題を探究し, 仮説立脚, 検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉する。 整形外傷学の深い学識を獲得する。							
注意事項・メッセージ							
(1) 随時口頭試問を行うので, 常時勉強しておくこと。 (2) 臨床の視点を忘れず, 医療の進歩に貢献する研究を目指すこと。 (注) スポーツ・外傷整形外科学と合同で授業, 指導を行っている							